



第61号

富士山ボランティアセンターニュース



発行: 富士山ボランティアセンター

0555-20-9229

URL <http://www.eps4.comlink.ne.jp/fujisan/>E-mail fujisan@eps4.comlink.ne.jp

富士山憲章五合目重点キャンペーン 7月21日(木)～27日(水)

今年で5年目を迎える富士山憲章キャンペーン。富士山の自然、文化、歴史、景観を後世に残していくこと、また環境保全を呼びかけるため、五合目登山道付近で実施しました。台風接近で、26日は中止となりましたが、7日間に渡る日程の中、熱心なボランティアの皆さんのおかげで、約3,220個の啓発物品を配布することができました。



遠くは神奈川県からの学生、四世代総出で駆けつけてくれた家族、吉田商業高等学校の生徒90名をはじめ、多くのボランティアに参加していただきました。

富士山エコトレッキング～精進口登山道(7月9日)



富士山ボランティアセンターでは、富士山への愛着と環境保全意識の高揚を図るためのエコトレッキングを開催しました。23名の参加者を、苔むす精進口登山道の自然が迎えてくれました。自然解説員1名、富士山レンジャー2名による自然解説に熱心に耳を傾ける参加者、時には、自ら解説をする場面もありました。ゴミ拾いも精力的に行い、重い鉄屑、自動車部品、建築廃材から空き缶に至るまで、100キロ近くを収集しました。ゴミの形態から、おおよその捨てられた時代、捨てた人が推測されます。今回のエコトレッキングで、未来に残してはいけない宿願を、少しは片付けられたのではないのでしょうか。終了後のアンケートでは、ほとんどの方から、来年のエコトレッキングにも参加を希望するとの回答を頂きました。富士山ボランティアセンターでは、一人でも多くの方に、自然に親しんでいただくための活動を展開していきます。

富士山環境保全への寄付～星美学園(7月13日)

東京都北区にある星美学園小学校の3年生による寄付金の贈呈が富士山五合目小御岳神社で行われました。星美学園は平成12年に富士山ボランティアセンターが設立されて以来毎年、富士山のための寄付を行っています。県観光資源課富士山ボランティアセンターの職員に手渡された、心のこもった手作りの募金箱の重さに、富士山の環境保全への期待が感じられます。



贈呈式の後、富士山の自然解説を真剣な表情で聞いていた児童たち、この日のことを忘れずに、また富士山に来てください。集められた寄付金は富士山の環境保全に利用させていただきます。



自然解説員研修～より良い解説を行うために(7月2, 3日)

五合目自然解説員、富士山レンジャー等19人は、五合目よりも高い地点での、植物、動物、景観、地質、地形、気象などについての学習を行うための山頂登山研修を行いました。

1日目:10時に登山を開始、お互いの解説を聴き、初夏の緑と風に包まれながら、八合目の宿に午後5時に到着しました。その日は、遙か北アルプスや八ヶ岳を見渡すことができ、日が落ちる頃には、影富士を見ることができました。

2日目:麓を覆い尽くす雲海の上で御来光を浴び、山頂を目指しました。その後、御鉢を巡り、下山。午後3時に、五合目総合管理センターでの意見交換を行い、研修を締めくくりました。



イタドリやオンタデの逞しい生命力に関心をよせる自然解説員

幸いにして天候に恵まれた山頂研修。初夏の富士山の自然に感動し、知識の提供、情報交換が盛んに行われました。

富士山がきれいになった日 7月31日(日)



「(財)富士山をきれいにする会」主催の前期富士山クリーン作戦が実施され、総勢1,100名が富士山の美化清掃を行い、計690kgのゴミが集められました。

富士ビジターセンターでの出発式の様子

また、同日の午後「24時間テレビ 富士山をきれいにするプロジェクト」による、富士山北麓地域の清掃、粗大ゴミの調査、撤去が、様々なボランティアの協力を得て、実施されました。山梨県側では合計8トンのゴミを収集。富士山がきれいになった一日でした。



青木ヶ原樹海での清掃。拾っても、拾っても出てくるゴミの多さに、驚きます。埋めてある空き缶や、医療廃棄物、タイヤ、冷蔵庫等をボランティアの皆さんと協力して片付ける富士山レンジャー。

